



# 金沢赤とんぼ童謡唱歌愛唱会

## 団体の概要

平成15年9月、東京赤とんぼの会の全面支援を受け、地方で初の結成となりました。我が国が世界に誇っても恥ずかしくない美しい歌詞で表現されている四季折々の日本の情景がうたわれている童謡唱歌が、いまや消滅の危機にある今こそ、歌い広めて、次世代の子どもたちに伝える会です。春、秋の愛唱大会の開催、県内巡回大会の開催、県下9会場での月例会を実施しています。

水淵町の童謡の丘では、来演者の記念植樹や歌詞表示板の記念除幕式も行い、児童館や学童クラブの子どもたちとともに体験型環境教育活動をすることで、童謡唱歌に歌われている里山の美しい風景や、森の恵みの豊かさを実感してもらい、里山保全の大切さを理解してもらえることができると考えております。

## 本制度における森林保全活動の内容

森林の場所: 金沢市水淵町  
実施項目: 植栽、下刈り、除伐  
実施時期: 6月から12月  
実施人数: のべ129人

平成12年石川県ケヤキ100万本運動に伴い、金沢市水淵町にケヤキを植樹、現在も育成、保全活動を継承中です。金沢赤とんぼの会は童謡唱歌を歌い広め、歌い繋ぐのみならず、児童館や学童クラブの子どもたちや来演ゲストの記念植樹や歌詞表示板の除幕を行う童謡の丘整備保全にも取り組んでおります。

水淵町地内の古道整備、保全また水淵城跡へ続く第一展望台、第二展望台、第三展望台や散策路の開設を実施中です。

森林活性化につながる荒廃した竹林の整備保全を行い、落葉広葉樹の森の育成を行っています。

森林保全活動を継続し、県民参加の体験型環境教育をさらに充実した活動にしていきます。

# 森林保全活動の写真

## 1)竹林整備

作業中



作業後



## 2)除伐

作業中





### 3) 植樹

作業中①



作業中②



作業後



## 本制度へのコメント

里山整備の必要性が最近特に唱えられるようになりました。森林の持つ多面的機能が、高齢化や人手不足からの里山の手入れ不足となり、荒廃が拡大し竹林の侵入や、イノシシ、クマ、シカなどの野生動物の出没や、温暖化や土砂災害の発生等危機的状況となりつつあります。これらの事を解消するためには森林保全活動を継続的に続けることが必要です。

大自然の恩恵を受け続けるために、誰もが楽しめるような美しい里山を、また、誰もが心安らげるホッとするような里山を次世代につなげるためにも、本制度を活用した里山保全活動の継続をしていきます。

金沢赤とんぼ童謡唱歌愛国会

代表 升村 登美子

〒920-1303

金沢市辰巳町口16-4

電話:076-229-0436